

十津川村「村報とつかわ」に事業についての 特集記事が掲載されました



奈良県十津川村で発行している「村報とつかわ」令和3年7月号に紀伊山系砂防事務所がこれまで行ってきた対策工事の現状や今後の整備についての特集記事が掲載されました。

十津川村 周辺の 施工箇所



掲載された特集記事の内容

紀伊山系砂防事務所の特集

神納川流域
紀伊半島大水害以降、神納川流域全域で山崩れの危険が高まり、土砂・洪水災害の恐れが高まるなど危険な状態となっていることから、断続的な土砂流出や顕著な河床土砂堆積防止のための恒久的な対策を行っています。
現在、上流部の小井谷で1基目の砂防堰堤を撤去し、今年度中には2基目の整備に着手する予定です。

栗平地区
紀伊半島大水害で発生した栗水地区については、河原部保の堤を土砂崩れの被害で壊れた土砂を利用することで、令和3年3月に暫定地点が完了しました。
栗水地区からの継続・投資による土砂発生地の解消が解消することで、一定の安全性が確保されましたが、まだ上流からの土砂流出防止する必要があります。
下流域への対策として土砂の流出を抑える砂防堰堤については、平成29年1月に1基目が完成しており、現在、上流側に2基目の砂防堰堤を整備しています。

赤谷地区
栗水地区の理め立てが令和3年3月に完了し、栗水地区からの継続・投資による土砂発生地の解消が完了しました。これは、無人の運転が自律的また、河原部保土砂の流出を抑制する中流への土砂流出を抑制する砂防堰堤工事のほか、床部工即および河床保全工事の整備が完了したことで、下流域への一定の安全性が確保されましたが、まだ上流からの土砂流出を抑制する必要があります。

現在、3基目の砂防堰堤を整備していますが、施工にあたっては、砂防工事でも全閉鎖となる「自動化施工」を導入しています。これは、無人の運転が自律的に工事を進める最新技術です。自動化を行うことにより、雨の多い梅雨や台風時期でも、員数削減の下で24時間常時監視の作業を、フルオートでの運用の中で安全かつ効率的に行うことができます。

紀伊半島大水害から10年

栗平地区（十津川村内原）
令和3年3月に完了した砂防堰堤の状況を示す写真と、自動化された砂防堰堤の構造図が掲載されています。

赤谷地区（五條市大塔町清水）
令和3年3月に完了した砂防堰堤の状況を示す写真と、自動化された砂防堰堤の構造図が掲載されています。

紀伊山系砂防事務所の特集

直轄砂防事業の現状
国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所

長殿地区
栗水地区からの継続・投資を抑える断続的な砂防堰堤を平成28年3月までに整備したことで、河原部保の恒久的な土砂堆積防止が一定の安全性は確保されましたが、まだ残存する栗水地区を解消させる必要があります。
現在、栗水地区の「取水を排水し水害を予防」することで河原部保の「減り」を抑制し、安全かつ効率的に整備するための、断続的・自動化・24時間常時監視の作業を、フルオートでの運用の中で安全かつ効率的に行うことができます。

令和3年3月に完了した砂防堰堤の状況を示す写真と、自動化された砂防堰堤の構造図が掲載されています。

十津川村「村報とつかわ」掲載サイト

<https://www.vill.totsukawa.lg.jp/sonpo/>

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所 調査課
〒637-0002 奈良県五條市三在町1681 TEL : 0747-25-3111 (代)

